

インタビュー

やまだ ひさしさん × 株式会社ミロク情報サービス

「情緒のメディア」で社員のホンネを引き出す

——社内向け音声配信による組織風土改革

取材・文：勝田 慶
中小企業診断士
写真：安岡 嘉

やまだ ひさし

北海道出身。ユークリッド・エージェンシー所属。1999年に現在まで25年続くTOKYO FM/JFN系列の長寿番組「やまだひさしのラジオアンリミテッド」でラジオDJデビュー。「喋り屋」としてラジオDJの他、テレビやイベントのナレーションなど、さまざまな「喋り」を生かした活動を行っている。2000年5月にギャラクシー賞ラジオ部門DJパーソナリティ賞と番組優秀賞をダブル受賞。

The Prologue ——

「役職・年齢・性別問わず、あなたのホンネこそがミロクの明日を作る。『ミロクノホンネの向こう側』、始まります」

軽快なオープニング、ゲストのトークを引き出す質問やさりげないフォロー。スタジオ全体を包む朗らかな雰囲気を作り出しているのは、この道

Interview Hisashi Yamada × MJS

「情緒のメディア」で社員のホンネを引き出す——社内向け音声配信による組織風土改革

25年、プロの「喋り屋」として第一線で活躍中はやまだひさしさんである。

2022年に開始したこの番組が流れているのは、1977年創業の財務・会計システムの老舗企業、ミロク情報サービス（以下、MJS）の社内である。「プロのラジオDJを起用した社内向け音声配信」という手法で、従業員と経営陣の距離を縮め、エンゲージメント向上を図る同社。その取り組みから、組織風土改革に向けた施策としての「社内向け音声配信」の可能性を探りたい。

「ミロクノホンネの向こう側」ができるまで

経営陣と従業員の距離を音声で縮める

MJSでは近年、業界全体での人材の流動性が激しくなる中、離職率が上昇していることに課題を感じていた。2021年に実施した第1回エンゲージメントサーベイ（従業員意識調査）では「経営陣との距離感」に関する指標が低い結果となり、何らかの対策が必要だと社内で議論していく中で、同社の是枝周樹社長

から出てきたのが「社内 Podcast（社内向け音声配信）の実施」である。やまださんは、当時のことをこう語る。

「僕も年齢を重ねる中で経営者の方とのつながりも増えてきましたが、是枝さんは語り口も柔らかく、難しい話もわかりやすく話してくれる、とても魅力的なパーソナリティをお持ちだと感じました。ただ社員の方からすると、コロナ禍も相まって距離がより遠くなってしまい、その魅力が伝わっていないように見えて、もったいないとも思ったのです。そこで、その距離感を縮められるお手伝いをしたいと、社長から社員の皆さんに直接思いを伝える『社内 Podcast』のアイデアが出きました」

収録の様子
（東京都世田谷区のシャ・ラ・ラ・カンパニーのスタジオにて）



【やまだひさし × ミロク情報サービス】
社内 Podcast 番組「ミロクノホンネの向こう側」
月刊『企業診断』掲載 特別版

「ミロクノホンネの向こう側」の番組の雰囲気がわかるように、『企業診断』の読者の方々に向けた特別版を収録いたしました。下記URLより、ぜひご聴取ください。
※通常は音声の一般公開はしていません

URL：
<https://youtu.be/xXspdyw8O3l?si=975CkUpSOficWslp>

